

## 韓国のワンストップ支援センター

※ 「平成 24 年版犯罪被害者白書」より

## ア 韓国のワンストップ支援センター

韓国では、2006 年 8 月、ソウル市の警察病院内に最初のワンストップ支援センターが設置されており、2012 年 3 月現在、警察病院などの国公立病院、大学病院、民間病院など 16 か所に設置されている。設置のための特別な要件はないが、いずれも 300 床以上の大型病院に併設されている。

これら国内のワンストップ支援センターに対しては、34 億 5900 万ウォン（うち国費が 50～60%）が予算措置されている。なお、治療費に関する予算は、女性家庭部が別途計上している。

## イ ポラメワンストップ支援センター

ポラメワンストップ支援センターは、ソウル市、ソウル地方警察庁及びポラメ病院の協定に基づき、2008 年 12 月、ソウル大学の施設であるソウル市立ポラメ病院内に設置された。

センター内には、院内の産婦人科とは別に、婦人科治療の設備が設けられている。また、事情聴取室及び録音録画モニタリング室も設けられている（韓国では、19 歳未満の者及び一定の障害者から事情聴取をする場合、被害者の同意を前提とした録画が義務付けられており、これらは児童や障害者の事情聴取に利用されている。）。

支援対象は、性暴力、家庭内暴力、性売買、校内暴力による被害者であり、支援内容は、相談、医療的支援（婦人科治療、感染症検査、緊急避妊薬投与、証拠採取、外傷治療等）及び事情聴取等である。これらの支援は全て無料で提供されている。

※ ワンストップ支援センターは、緊急支援を目的としており、カウンセリング等の長期にわたる支援が必要なケースは、性暴力相談所など関係機関へ引き継がれる。また、2 回目以降の事情聴取など、以後の捜査手続への協力は、管轄警察署の警察官が行う。